

別記様式（第2条関係）

会議結果報告書

令和7年11月11日

会議の名称	政策推進会議
開催日時	令和7年11月11日（火） 14時00分～14時30分
開催場所	大会議室2-1
出席者職氏名	【政策推進会議メンバー】 松井市長公室長、外立総合行政部長、豊島総務部長、松田政策推進課長、尾崎人事課長、伊東財政課長、 【担当部課】 青木上下水道部長、佐藤上下水道部参事兼上下水道総務課長 (計 8人)
欠席者職氏名	(計 0人)
説明員職氏名	佐藤上下水道部参事兼上下水道総務課長 (計 1人)
議題	志木市上下水道事業経営戦略の改定について
結果	担当課の提案どおりとし、策定に向けて進めていく。
事務局職員職氏名	柴谷政策推進課主査、矢野政策推進課主任
その他必要事項	

会議内容の記録（会議経過、結論等）

1 開会

松田政策推進課長が開会を告げる。

2 審議事項

<志木市上下水道事業経営戦略の改定について>

- ・佐藤上下水道部参事兼上下水道総務課長より概要を説明後、審議を行った。

○概要説明

（1）背景と目的

施設の老朽化や人口減少により、経営環境が厳しさを増している状況に加え、総務省からは、将来にわたり安定的なサービスの提供の必要性から令和7年度までに経営戦略の見直し率を100%とすることが要請されている。また、下水道事業に係る経営改善に向けた定期的な経営戦略の策定は、社会資本整備総合交付金の交付要件にもなっているところでもある。

このような背景を受け、経営基盤の強化を図るため「志木市水道事業経営戦略」及び「志木市下水道事業経営戦略」の改定をするもの。改定にあたっては、国のガイドラインに基づき、収支を維持するうえで必要となる経営改革の検討を実施する。

（2）基本的な考え方

経営戦略は、地方公営企業が将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な計画であり、その中心となる「投資・財政計画」は「投資試算（施設・設備の見通し：支出）」と「財源試算（財源の見通し：収入）」に投資以外の経費を含めたうえで、支出と収入が均衡するように作成する。

（3）計画期間

令和8年度から令和17年度までの10年間

メンバー：今後の予定は。

担当部課：この後、志木市上下水道事業審議会に諮問する予定であり、2月頃に意見公募手続を予定している。埼玉県より購入している県水の料金改定があるため、県内で多くの市町が同様の動きになると考える。

メンバー：有収水量は減っているのか。

担当部課：水道の有収水量のピークである平成4年と比較すると、節水機器の影響もあり今の基準で年間40日分程度の水量が減っている。下水も横這い状態となっている。古い建物についても建替え等の更新により節水機器の導入が増えていくことを考えると今後も減っていくと考えられる。

メンバー：料金改定について、どう考えているか。

担当部課：流域下水道の負担金の改定もあり、現在の料金設定では厳しくなる。また、流域下水道の整備負担金は、流域内での大企業の減少や、人口が大幅に減少する市町などの影響を受ける。さらに今後は、耐用年数が迫る施設が増えて、更新も増えてくる。

メンバー：新築戸建も増えているが、料金収入に変化はないか。

担当部課：新規加入もあるが、学校における民間プール施設を活用した水泳授業への移行なども影響がある。

○結論

担当課の提案どおりとし、策定に向けて進めていく。

3 閉会

松田政策推進課長が閉会を告げる。

備考 会議内容の記録には、発言者の立場を明記するとともに、発言の趣旨が容易に理解できるよう簡潔明瞭に記載すること。